

会報

幸わせ

第216号

発行者
 社会福祉法人
 長野市身体障害者福祉協会
 理事長 丸山 勝
 〒380-0904
 長野市大字鶴賀276-10
 (長野市障害者福祉センター内)
 電話 228-3014
 ファクシ 226-6263

新年あいさつ

市長 荻原 健司



新年明けまして
おめでとうございます。
皆様には、健や

かです希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃は市政に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨秋の長野市長選挙におきまして、多くの皆様のご支持とご支援を賜り、引き続き、市長の重責を担わせていただくことになりました。市民の皆様の期待と負託に応えるためにも、これから新たな決意をもって市政運営に当たってまいります。これまでの4年間、あらゆる分野で多くの課題解決に向けた種を蒔いてきました。その種を二期目の市政を担当させていただく4年間で花を咲かせ、しっかりとした果実として市民の皆様にお届けできるよう取り組んでまいります。

医療・福祉・子育てに関しまして

は、市民が安心して活き生きと暮らし続けられるまちを目指し、福祉・医療体制の一層の充実に取り組み、市民の健康保持と増進を図ることで、すべての世代が安心して暮らせる長野市をつくってまいります。

また、障害福祉分野では、令和7年に制定された「長野市手話言語条例」に基づき、手話をはじめとするコミュニケーション支援の充実を図るとともに、「障害者差別解消法」に規定された、障害者に対する「合理的配慮の提供」について、啓発活動や研修の機会などを通じ、障害のある人もない人も、その人らしさを互いに認め合いながら、共に生きる共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、今年一年が皆様にとって幸せと健康に満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

賀正

新年あいさつ

理事長 丸山 勝



新年あけまして
おめでとうございます。
皆様には健やか

な新年を迎えたこととお喜び申し上げます。昨年の夏は記録的な猛暑に見舞われ、皆様それぞれたいへんな思いで過ごされたことと思います。

理事長に就任し、半年余りが経過いたしました。新型コロナウイルス感染症はまだまだ油断はできませんが、落ち着いた状態ですので、本会の今年度の事業は順調に進んでいます。特に、7月、10月の「希望の旅」には大勢の会員の皆様にご参加いただきました。

また、10月4日に開催しました第57回長野市身体障害者福祉大会で講演いただきました365日大学校長小山秀一さんの奥様には本部会員として入会いただきました。大会で決議いただいた要望事項は、12月18日

に直接、荻原市長に要望書として提出してまいりました。

令和4年4月1日に施行されました「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」に規定された障害者の合理的配慮を求める意思表示の制度は、今年で5年目を迎えます。徐々にではありますが、官民一体となって取り組んでいただいております。

障害のある我々一人ひとりも声を発し「社会的障壁」の除去を求める意思表示を積極的に唱えていきたいと思っております。

今年も会員の皆様には、楽しんで、喜んでいただける協会づくりにスタッフ一同努力をいたす所存です。また、こんなことをして欲しい、あんなことはできないか等ありましたら何でも結構ですので、手紙、ファックス等で協会へご一報ください。

結びに、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



市長要望

12月18日、長野市役所において荻原健司市長に、今年度の市身体障害者福祉大会において決議された事項について要望しました。市長からの回答は、次のとおりです。

要望1

リフト付きバス運行事業は、身体障害者の外出を支援するなど、社会参加促進のための重要な事業であることから、利用者の希望に沿った運行が図られるように要望します。

回答

リフト付バス運行事業は、身体障害者の皆様の移動や、社会参加の促進に利用していただくための重要な事業であり、利用に感謝する。



昨今、バス運行事業者は、全国的に運転手不足や燃料費の高騰などの影響により運営が厳しいといわれており、本市でも高齢化等による運転手不足が深刻な問題となっている。

昨年度、委託業者より、苦しい運営状況から事業の受託が困難との申し出があったが、持続可能な事業とするため、今年度からリフト付きバスの運行にあたり、予め委託事業者から運行可能な日を市に提示していただき、利用希望団体からの予約を受け付ける方式に変更した。

市では引き続き、複数事業者による運行の可否やタクシー会社の参加を含め、より良いサービスの提供方法を検討していく。

要望2

障害者福祉センターの「集會室兼体育室」へ、冷房設備の設置を要望します。

回答

近年における気温上昇により、センター集會室兼体育室の高温について承知している。

令和8年度当初予算において冷房設備費用を計上している。



市議会議長表敬訪問

12月17日、正副理事長及び相談役が若林祥市議会議長を表敬訪問し、長野市議会事務局議長応接室において、懇談を行いました。長野市議会議長が交代した年に実施しているものです。



第3回理事会

協会定款に基づき、理事長の職務執行状況を報告するため、11月13日午後2時から障害者福祉センターにおいて、8名中6名の理事と監事2名中1名の出席で開催されました。理事長及び事務局から令和7年度前期の職務の執行状況について報告等がありました。



第2回支部長会

11月6日午後2時から障害者福祉センターにおいて、6支部中5名の支部長の出席で開催され、今後の事業等について、協議を行いました。

また、支部長会終了後、情報交換会を開き、本部事業の進め方や支部の状況について、情報の交換と共有を行いました。



希望の旅に参加して

本部会員 竹内 徳雄

10月16日(木)、上越水族博物館うみがたりへの「希望の旅」に参加しました。参加者は32名でした。

早朝6時台に柳原支所を出発したバスはカネボウ跡地駐車場、いろは堂おやきファームに立ち寄り、参加者は希望した場所で各々乗車しました。パーキングエリア2ヶ所で休憩した後、予定通り10時頃、うみがたりに到着しました。2班に分かれて昼食をとり、館内を見学しました。山国長野に住んでいると、見るのがない魚やイルカ、ペンギン、クラゲなどを見ることができ、たいへんに楽しめました。その後、鮮魚センターに立ち寄り、新鮮な魚介類を、皆、思い思いに買い物しました。

天気は、うみがたりに到着するまでは、何とかもちこたえたものの、その後、雨に強く降られたのが、唯一残念でした。普段、会うことが少ない協会員の皆さんと談笑できた楽しい旅で、これからも希望の旅などの協会行事にはどんどん参加したくなった一日でした。

元気をいただいた「さわやか合唱交流会」

戸隠支部 西 正夫

10月30日(木)、長野市芸術館で開催された「さわやか合唱交流会」を鑑賞しました。

最後の曲「ハレルヤコーラス」が終わると同時に会場いっぱいになり、拍手が響き渡りました。その曲の前も素晴らしい合唱が続いていたので、ステージ上の出演者も客席の観客も達成感、満足感で会場が一つになった瞬間でした。

この合唱交流会は60歳代から90歳代のシニアの皆さんの発表会です。ステージ



ジに上がるとき一見おぼつかない足取りだった人も指揮者のタクトが上がった途端、引き締まった表情になり、大きく口を開き、堂々と力強く歌う姿に感慨深いものがありました。しかも、最高齢97歳の人が頑張つて歌っていると聞いて、こちらも密かに元気をいただきました。

第2回健康教室開催される

11月6日(木)、第2回健康教室

が障害者福祉センター体育室で25名の参加者で開催されました。

まず、市保健所健康課の米山寛課長補佐から「薬の正しい使い方について」と題して講演がありました。参加者にとって身近な内容であったので、日頃から疑問に思っていることに関して、質問が多数出されました。

続いて、センター機能トレーニンング教室の横矢直之指導員から、日頃の運動不足を解消する体を動かす軽い運動の指導をしていただきました。

以前、健康教室は協会員のみのものでしたが、今は長野市在住の身体障害者でしたら、どなたでも参加できますので、次回からは誘い合つて、大勢の方の出席をお願いします。



縁側から語りつく「縁が和リレー」第25回

協会員の皆様へお願い

事務局次長 中沢 健一

事務局次長を務めさせていただいています中沢です。日頃、協会員の皆様にはたいへんにお世話になっております。

長野市役所に41年間勤務した後、縁あつて令和3年4月からこちらでお世話になり、早いもので5年目になります。市役所に在職時は、福祉関係の勤務がなかったため、最初は不安もありましたが、協会員の皆様の人柄に触れ、毎日、楽しく勤務させていただいております。

協会事務局におりまして、いつも思うのは、協会員の皆様は、常にいきいきと元気に過ごしていらっしゃるということなんです。障害に負けず前向きに生きられている姿勢に、頭が下がり、圧倒される毎日です。

そんな協会員の皆様へお願いがあります。今、協会は高齢化の進展等により、会員数の減少がたいへん顕著です。ご近所で協会に加入していない身体障害者の方がいらしたら、ぜひ、協会員に勧誘していただけないでしょうか。希望の旅や新春のつどいでしようか。希望の旅や新春のつどい、スポーツ体験会、健康教室などをもっと大人数で実施できたらどんなにすばらしいことでしょう。協会がいつまでも存続するために、ぜひともご協力をお願いします。

クリスマスの集い 盛大に開催！

12月14日(日)、障害者福祉センターにおいて、クリスマスの集いを開催しました。155名の皆さんに参加いただき、ステージ発表やスタンプラリーなどで、参加者やスタッフの皆様に楽しんでいただきました。



ステージ発表「アンバランちゅ」



ステージ発表「麦っ子広場」



スタンプラリー(点字体験)



スタンプラリー(ボッチャ)

「スタッフの皆様、準備から運営、片付けまでお疲れ様でした。」

新春のつどい 楽しく開催される

1月8日(木)、ホテル信濃路において、新春のつどいが開催されました。参加者は29名で、会食の後、ビンゴゲームなどで楽しく和気あいあい新年を祝いました。



行事予定

boccia

◆ボッチャ講習会

(青年部主催・女性部協力)

日時：2月15日(日)午後1時30分から

場所：障害者福祉センター 2階 体育室

申込み：1/30(金)までに事務局へ

今年度より編集委員となりました松代支部の島田です。車いすで街を移動していると、段差や急な坂に出合うことがあります。そんな時、「何かお手伝いすることはありますか?」と声をかけてくれる方もいらして、ありがたく思います。みんながこのような助け合いの気持ちをもって行動できたらいいなあ、と感じています。

編集後記

編集委員 島田 稔

ジパング倶楽部特別会員について

J R 東日本ほか、J R 6 社の特急券等の割引を受けることができます。

- 対象者 男性60歳以上、女性55歳以上で身体障害者手帳をお持ちの方。第1種の障害者の方は、介護者も割引になります。
- 年会費 1,400円
- 特典(割引) 特急券、急行券、グリーン券、指定席券が3割引(乗車距離が201km以上の時。) 新規加入は、3回目まで2割引 4回目以降3割引
- 利用制限 1年間で20回まで 4/27~5/6、8/10~8/19、12/28~1/6の期間は利用できません。
- 入会申込先 協会員：当事務局 非会員：県身障協会